

市立幼稚園の統廃合をする議案

○議案第79号(1件)

市立幼稚園を統廃合する理由は・・・

少子高齢化の影響を受け、園児数が減少してきています。このことから、多くの幼稚園において適正規模の人数による教育体制を確保することが困難となってきました。

これに伴い、この度「鈴鹿市立幼稚園再編整備計画」を策定し、その「第Ⅰ期再編整備計画」として、白鳥中学校区、鈴峰中学校区、天栄中学校区の3中学区において、市立幼稚園の統廃合を進めます。

今回、統廃合する市立幼稚園は、白鳥中学校区においては、石薬師幼稚園を加佐登幼稚園に、鈴峰中学校区においては、庄内幼稚園、深伊沢幼稚園を椿幼稚園に、天栄中学校区においては、天名幼稚園を栄幼稚園に統合し、就学前教育の環境整備を図ろうとするものです。



加佐登幼稚園

鈴鹿市の組織機構を見直す議案

○議案第71号(1件)

市の組織機構を見直す理由は・・・

近年、経済・社会情勢の大幅な変化によって自治体を取り巻く環境は大きく変化し、住民ニーズも複雑かつ多様化してきたため、より一層効率的で効果的な組織機構への見直しが必要となりました。

具体的な変更点は、保健福祉部の生活支援課を福祉総務課と保護課に再編(主管課機能の充実及び意思決定の迅速化を図る)、子育て支援課を児童保育課と子ども家庭支援課に再編(子育て支援事業のうち、特別な保護や支援が必要となる児童虐待をはじめとした専門的業務を分離する)します。

また、治水・浸水対策と生活排水対策をそれぞれ土木部と都市整備部に集約します。

治水・浸水対策については、土木部の河川雨水対策課として、雨水業務の一元化を図ります。一方、生活排水対策については、都市整備部の下水総務課、下水建設課、下水維持課の3課に再編し汚水業務の一元化を図ります。

このほか、課の設置、事務の移管等により事務分掌を改める等の改正を行います。

一般会計の補正予算議案

○議案第67号(1件)

歳入歳出それぞれ3億2,525万5千円を追加し、一般会計の総額を600億4,341万5千円にします。

主な補正内容は、障害福祉サービスの受給者増等に伴う障害者自立支援給付費の追加や、早急に対応を要する施設整備や修繕等の事業費として、二次救急医療機関である鈴鹿中央総合病院が、救急医療提供体制の整備のために行うMRIの更新に係る費用の一部として補助金を追加することなどです。

※その他の議案については、議決一覧(6ページ～8ページ)をご参照ください。